

イノソリッド配合経腸用半固形剤

【この薬は？】

販売名	イノソリッド配合経腸用半固形剤 ENOSOLID Semi Solid for Enteral Use
一般名	該当しない
含有量	300g（1バッグ中）

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、たん白アミノ酸製剤に属する薬です。
- ・この薬は、半消化態の経腸栄養剤です。
- ・この薬は、腸管から消化吸収されて、栄養補給効果を示します。
- ・次の目的で処方されます。

一般に、手術後患者の栄養保持に用いることができるが、
特に長期にわたり、経口的食事摂取が困難な場合の経管栄養補給に使用する。

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると本来の効果が得られないことがあります。指示どおりに使用し続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にイノソリッド配合経腸用半固形剤に含まれる成分で過敏症のあった人
 - ・牛乳たん白アレルギーのある人
 - ・胃の機能が残っていない人
 - ・イレウスのある人
 - ・腸管の機能が残っていない人
 - ・肝臓や腎臓に高度の障害のある人
 - ・重い糖尿病などの糖代謝異常のある人
 - ・先天性アミノ酸代謝異常の人
- 妊娠3箇月以内の人、妊娠を希望する人は、この薬を1日に1,500g以上使用することはできません。
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
 - ・短腸症候群の人
 - ・急性膵炎（すいえん）にかかっている人
 - ・水分の補給に注意を要する人（意識不明の人、口渇（こうかつ）を訴えることができない人、高熱がある人、重篤な下痢など著しい脱水症状がある人）
 - ・甲状腺機能低下症の人
 - ・妊婦又は妊娠を希望する人
 - ・授乳中の人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。
- この薬を手術の後に使用する場合、胃や腸管の運動機能が回復して、水分の摂取ができるようになったことの確認が行われます。

【この薬の使い方は？】

この薬は、胃瘻（いろう）から胃の中に投与する経腸栄養剤です。
静脈内へは投与しないでください。

●使用量および回数

使用する量は、あなたの年齢、体重、症状や栄養状態に合わせて、医師が決めます。
通常、成人は、1日900～1,500g（900～1,500kcal）を、1日数回に分けて投与します。1回の最大使用量は600gです。

●どのように使用するか？

- ・胃瘻から胃の中に投与します。使用方法は医師の指示に従ってください。
- ・この薬の容器は、使用する直前まで開封しないでください。
- ・容器に小さな穴や亀裂などの破損や汚損がある場合、容器からの液漏れ、膨張、異臭などがある場合は使用しないでください。
- ・この薬を温める場合は、開封せずに短時間で湯煎（40℃以下）してください。
- ・容器を開封前に揉んでから使用してください。揉んだ際に、容器からの液漏れなどがある場合は使用しないでください。
- ・この薬の投与を開始する時、胃瘻の栓をあけて、胃の空気を抜いてください。あわせて、胃に内容物が残っていないか確認してください。確認方法は医師の指示に従ってください。
- ・この薬は、専用の注入器を使って投与します。注入器が使えない場合は、この薬を清潔な容器に移して使用してください。
- ・可塑剤として DEHP [フタル酸ジ- (2-エチルヘキシル)] を含むポリ塩化ビニル製のチューブを使用した場合、DEHP が製剤中に溶出するので、DEHP を含まないチューブを使用してください。
- ・100 g あたり 2～4 分（300 g あたり 6～12 分）で投与します。あなたの症状に合わせて投与時間が増減されることがありますので、医師の指示に従ってください。
- ・投与後は毎回、少量の水でチューブを洗い流してください。
- ・この薬の容器を開封した後は、微生物汚染や直射日光を避けて、できるだけ早めに使い切ってください。やむを得ず保管する場合は、冷蔵庫に保管して、開封後 24 時間以内に使いきってください。
- ・投与の間隔は 2 時間以上あけてください。

●使用を忘れた場合の対応

使い忘れた場合は、気が付いた時に 1 回分を使用してください。決して 2 回分を一度に使用しないでください。

●多く使用した時(過量使用時)の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬を使用して下痢などの副作用が認められた場合には、使用量を減量、または使用が中止されることがあります。異常を感じたら、医師に相談してください。
- ・この薬の使用中に、ビタミン、電解質および微量元素が不足する可能性があるため、必要に応じて補給が行われます。医師の指示に従ってください。
- ・妊娠 3 箇月以内の人、妊娠を希望する人は、この薬を 1 日に 1,500 g 以上使用することはできません。
- ・妊婦又は妊娠を希望する人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬

を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、重大な副作用に記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹（しん）、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どうき）、息苦しい

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用の表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、ふらつき
頭部	めまい、意識の消失
顔面	顔面蒼白
口や喉	喉のかゆみ
胸部	動悸、息苦しい
手・足	手足が冷たくなる
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹

【この薬の形は？】

形状	微褐白色～褐白色のゲル
重さ	300g
バッグ	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>表面</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>裏面</p> </div> </div>

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	濃縮乳たん白質、カゼインナトリウム、トリカプリリン、ダイズ油、シソ油、魚油、マルトデキストリン、イヌリン、クエン酸ナトリウム水和物、塩化ナトリウム、炭酸カリウム、クエン酸カリウム、乳酸カルシウム水和物、塩化マグネシウム、リン酸二カリウム、グルコン酸第一鉄、硫酸亜鉛水和物、硫酸マンガン（II）五水和物、硫酸銅、ヨウ化カリウム、粉寒天、アルギン酸、セレン酸ナトリウム、塩化クロム六水和物、モリブデン酸ナトリウム二水和物、ビタミン A 油（1g 中 100 万 IU 含有）、コレカルシフェロール、トコフェロール酢酸エステル、フィトナジオン、チアミン塩化物塩酸塩、リボフラビンリン酸エステルナトリウム、ピリドキシン塩酸塩、シアノコバラミン、L-アスコルビン酸ナトリウム、ニコチン酸アミド、パントテン酸カルシウム、葉酸、ビオチン、L-カルニチン、コリン塩化物
添加剤	グリセリンコハク酸脂肪酸エステル、グリセリンクエン酸脂肪酸エステル、グリセリン脂肪酸エステル、グリセリン脂肪酸エステル混合物、エリソルビン酸ナトリウム、香料（エチルバニリン、バニリン、プロピレングリコールを含む）

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：イーエヌ大塚製薬株式会社

販売提携：株式会社大塚製薬工場

(<https://www.otsukakj.jp/>)

輸液DIセンター

電話番号：0120-719-814

受付時間：9時～17時30分

（土、日、祝日、その他当社の休業日を除く）